

# 令和3年度 第3回 岐阜県地方独立行政法人評価委員会（看護大学関係）

## — 議 事 要 旨 —

- 1 日 時 令和3年11月15日（月） 10:30 ～ 11:05
- 2 場 所 Web会議（事務局：県庁11階 教育委員会室）
- 3 出席者  
[委 員] 中島委員長、地守委員、富田委員、渡部委員  
[専門委員] 青木専門委員  
[法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）北山理事長、土井事務局長  
[設立団体]（岐阜県）堀健康福祉部長、森医療福祉連携推進課長、若原看護対策監、  
堀込看護係長 ほか
- 4 議 事 等  
[議 題 1] 公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期目標（案）に係る報告及び  
意見書について  
[議 題 2] 公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期計画（案）について
- 5 配布資料 次第、名簿、資料1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3
- 6 議事要旨

## 議事概要 看護大学関係

### 【議題 1】

公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期目標（案）に係る報告及び意見書について

資料1-1 及び 資料1-2 に従い事務局から説明

### 【質疑応答】

#### 【富田委員】

資料1-1の前文における「高度看護人材」という表記が適正かどうかについて、疑問が残るが、青木専門委員の見解を聞きたい。

#### 【青木専門委員】

「看護人材」という言葉に「高度」がついた表記は見たことがない。

#### 【中島委員長】

「高度看護人材」という表記について、違和感がある。

#### 【看護大学 北山理事長】

再度見直したところ、「高度看護人材」という表記について、違和感がある。

「看護人材」もしくは「高度な専門性を有する看護人材」等の表記が適正かと思う。

#### 【中島委員長】

表記を再度検討してはどうか。

#### 【事務局】

事務局で再度検討し、最終版について各委員・専門委員の皆様へ確認の上、送付する。

#### 【中島委員長】

他にご意見・ご質問が尽きたようなので、看護大学第3期中期目標（案）については、指摘があった点を最終確認し、当委員会としての意見書を知事に提出することについて、決定したいと思う。

修正後、意見書（案）のとおり、法第25条第1項の規定に基づく中期目標については、別添（案）のとおりとすることが適当であるとする意見書を知事に提出することとしたいが、これにご異議はないか。

（異議なしの声）

**【中島委員長】**

異議なしと認める。看護大学第3期中期目標（案）については、修正後に知事に意見書を提出することに決定した。

**[議題2]**

公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期計画（案）について

**資料2-1** ～ **資料2-3** に従い法人から説明

**質疑応答**

**【富田委員】**

オープンキャンパスの対象者の内訳について教えてほしい。

**【看護大学 北山理事長】**

ほとんどが本学入学を志願する高校生である。

**【富田委員】**

高校生は全国から来るのか。

**【看護大学 北山理事長】**

今年度については、県内からの参加者が8割以上である。

**【富田委員】**

令和3年度の参加者は、例年に比べ3割以下であるが、理解度は高まったということでよいか。

**【看護大学 北山理事長】**

その通り。

**【富田委員】**

広報活動について、多数の対象者に行うのか、それとも少数の対象者に集中的に行うのかは、広報活動をする上でのジレンマかと思うが、どちらが効果的と考えるか。

**【看護大学 北山理事長】**

今年度のオープンキャンパス参加者がどれだけ本学を受験するのかという検証ができるのであればしたいと思う。

以前のように大多数を対象にしていた際は、小学生、中学生及び保護者も参加しており、広く浅く大学を知っていただくという点ではよかったと思うが、今年度のようにターゲットを絞った広報のあり方も必要かと思う。

**【富田委員】**

「県内就職率60%」について、中期目標（案）に記載があるのに対し、中期計画（案）に記載はないが、大学としてどのように考えているのか。

**【看護大学 北山理事長】**

最終的には学生の選択を尊重せざるを得ないと考えている。

「県内の看護の質の向上に貢献」という本学の理念があるため、県内の医療施設等に就業するように全学的に取り組んでいるが、結果に中々表れないといった状況である。

**【中島委員長】**

中期目標（案）において、唯一の数値目標が「県内就職率60%」であり、目標に記載がある以上は、計画にも記載することが通常である。

また、看護大学は県の税金を財源に運営していると思うので、ステークホルダー（直接・間接的な利害関係者）に対し、努力する姿勢が分かるように数値目標として示した方がよいと思う。

**【看護大学 北山理事長】**

そのような考え方も理解できる。

本学では、県内就職率向上のために様々な取組みをしているが、直近5年間の平均値は57.4%というのが現状であり、年度によりかなりの変動がある。

数値目標については、再度検討する必要があるとは考えているが、大学だけでは達成は難しい面もあるので、県及び県内医療機関等と緊密に連携し、推し進めていく必要があると思う。

**【中島委員長】**

県内就職率については、是非中期計画に記載されたい。

**【青木専門委員】**

県内就職率については、中期計画に記載をしてほしいが、大学のみでの活動では限界があると思うので、臨床の看護管理者と連携してほしい。

臨床現場では、「県立看護大学卒業生は優秀である。」といった評判をよく聞くため、是非、先輩看護師との連携についても、一緒に工夫していきたいと考えている。

**【中島委員長】**

他にご意見・ご質問が尽きたようなので、第3期中期計画（案）については、県内就職率の指標の再検討について私から再度お願いをし、審議を終了とする。

以上（終了時刻 11:05）